



母娘流転

下卷

成人向

サークル太平天国
堀川悟郎個人誌

「母娘流転」



まえがき

清楚でたおやかな美人妻 香坂奈緒と、清純可憐な一人娘 香坂美緒。大企業社長夫人とその令嬢として幸せに暮らしていた美人母娘に毒牙が迫る。社長に恨みを持ち、ふたりに横恋慕する悪徳社員柊島が暴力団と協力して画策した卑劣な罠に落ち社長は解任、逮捕されてしまう。押し付けられた莫大な負債のカタに拉致監禁される香坂母娘。二人の前に現れた柊島によって、母は娘の目の前で、娘は母の眼前で柊島に肉体を汚される。哀れな母娘が転がり落ちる先は果たして？

長い事自分の同人誌を印刷して下さっていた大友出版印刷さんが、この夏で解散される事になりました。93年に同人活動に専念するようになってから、自分の本は一貫して大友さんをお願いしてきましたので、もう四半世紀以上のお付き合いになります。友人が大友さんで刷った本を見せて貰った時に、その線の出具合が非常に自分の好みだった為に、是非ともここにお願いしたいと思い、利用当初は大阪の店舗に原稿と手付金（印刷費の総額がよく判らなかった為）持って直に持ち込みしてました。今の社長とその御主人である前社長には、線の出具合がああでもないこうでもないと言っただけで困らせてしまった思い出があります。自分の同人活動は間違いなく大友出版さんのおかげで成り立っていた訳で、感謝の言葉しかありません。今まで長い間大変お世話になりました。

平成31年7月1日

堀川悟郎

お久しぶり
ですなア奥さん

前社長の夫人
香坂奈緒と
その愛娘
香坂美緒

その節は

大変御無礼を
致しました……

は……はい

冥央会の事務所で
味見をさせていただいて
以来ですかな

で、今日は
母娘揃ってどの様な
御用件で？

私も忙しい身でね
手短に願いますよ

は……はい

申し訳ございません

御存じの通り

この三ヶ月 私共母娘は
冥央会の皆様方によって
奴隷調教を施されて
参りました……

そしてこのたび 私達は
桃島様専属の肉奴隷として
お仕える様申し付け
られてきたのです

家も財産もすべて失い
一文無しの宿無しとなった
私達に残されているのは

いの……

無様に熟れ育った
肉体より他には何も
ございません……

私達には行く所が
ございません……

恥知らずな願ひである
事は重々承知致して
おりますが……どうか

かつての清楚で可憐な
美人母娘は今、男の
獣欲を満たす為だけの
肉奴隷となっていた

どうか桃島様の
御傍においては
いただけませんか
でしょうか？

私達には桃島様より
他に頼れる方が
いないのです……

何でも致します
桃島様の御言いつけで
あればどんな恥ずかしい
事でも平気です……



どうぞ……
椎島様のお気の
向かれるまま

存分にお召し上がり
下さいまし……

母娘流転

堀川悟郎

今日からは俺様が
この母娘奴隷の
御主人様だ

我が社の屋上には
社長専用の
ペントハウスがある

前社長は商談に使って
いたが、俺様はそこに
キングサイズのベッドを
運び込んだ

あつ

無論、この母娘の
肉体を思うがまま
貪り尽くす為だ

どれ

この三ヶ月でどれだけ
仕込まれたか
試食といきますか

私共母娘の身柄を
お引き受け下さり誠に
ありがとうございます

誠心誠意お仕え致します
ゆえ、何なりとお申し付け
下さいませ……

ん？

私達母娘は桃島様
専用の忠実なる
肉便器でございます

私達の肉体は髪の毛一本
からお尻の穴まですべて
桃島様のものです……

どうぞ如何様にも
お辱め下さいまし……

クククク

何ともしつけが
行き届いておる様
ではないですか

いや
結構結構

あの目見せた怒りに
満ちた覇気は微塵も
感じられない

俺様に向ける
媚びへつらう様な
まなざしはまさしく
負け犬の目だ

かつて焦がれた美人母娘は
卑しい肉奴隷と成り果てて
俺様に丸裸の尻を
差し出している

そこで見ていなさい
美緒ちゃん

お母さんの後に
たっぶり可愛がつて
あげるからね

はい……

よろしくお願い
致します桃島様……

従順過ぎて面白みに欠ける
と言えはそれまでだが
面倒事が嫌いな俺様
としては丁度良い

さあ、三ヶ月ぶりに
ハメさせていただく
しましょうか
惨めな元社長夫人の
淫尻にね

は、はい……

どうぞ……
御存分に

俺様は久しぶりに味わう
奈緒の極上マンコに
滾る肉息をあてがうと

子宮に届かんばかりに
一気にねじり込んだ

俺様がハメたと同時に
奈緒は絶頂った

あひいいいいい

あ……

あ……ひ

カカカカ
ハメただけで絶頂って
しまうとはなんと
ふしだら極まりない

あああん

んんっ

んうう

さすがは犯されて感じる
様な下変態だけはある
いや実に淫ら

はうううん

あはん

乳タブもこんなに
いやらしく熟れ育って
しまつて

こんないやらしい肉体を
して恥ずかしいとは思
わんのですかええっ？

あ……あ

申し訳……

ああん

あひっ

覚えておいでですか
私が御宅にお伺いして
玄関先で土下座させられた
時の事を

私は人生において
あれ程の屈辱を受けた
のは初めてでしたよ

思えば貴女の御亭主には
散々怒鳴り散らされ
ましたっけ やれ無能だの
やれ腰巾着だのと

あ……あ その節は
大変なご無礼を……

あひっ

ああん

主人の罪は妻である
私の罪でございます

あひい

あんっ

今更どう言葉を尽くしても
お詫び出来るものでは
ございませんが……

せめて私のこの
はしたない肉体で
よろしければ

ああん

ひいっ

お気の済むまで
存分にお廻り
下さいまし……

ひいひい



.....あ



ん.....ん



美緒がバレない様に
そっと自分を慰めるのを
俺様は見逃さなかった



ひいっ

あひい

ひいっ

あひい



あ...ひ

私が一発発射する
間に何度絶頂けば
気が済むんです
ええっ？

それでも元は仮にも
一流企業の社長夫人
ですか 恥を
知らないさい恥を

あんっ

あ.....あ

どうか.....
おっしゃらないで

あふう

カカカ また
絶頂ってしまった
様ですなこれで
何回目ですか

あはああん

今の私は……
社長夫人でも
何でもないんです

あんっ

ただ……おちんぽを
おハメいただく為だけの
卑しい肉奴隷に
過ぎないんです……

ああん

あはん

ん……う

ですが勘違いしては
いけませんぞ
奥さん

貴女は肉奴隷に
されたから淫乱に
なった訳じゃない

あひい

貴女は元々
生まれつきのマゾ牝
なのだという事を
お忘れなきよう

あああん

変態の分際で
良妻賢母を気取って
周囲を欺いて
きたのだ貴女は

なんという欺瞞
なんという罪深さ

おのれの罪業を
ひと突きごとに
懺悔するがいい
この変態マゾ牝めが

あんっ

あはん

あ……あ
おっしやる通りで
ごさいます

私は……
悪い女です

あひい

ひいっ

夫を……世間を
欺いてきた
罪深い女なのです

真性のマゾ牝で
ありながら貞淑を装い
よき妻のふりをして

はあん

ひい

あひい

あひっ

卑しいマゾ牝……

私はあなたの妻で
ある資格などない

ごめんなさい
……あなた

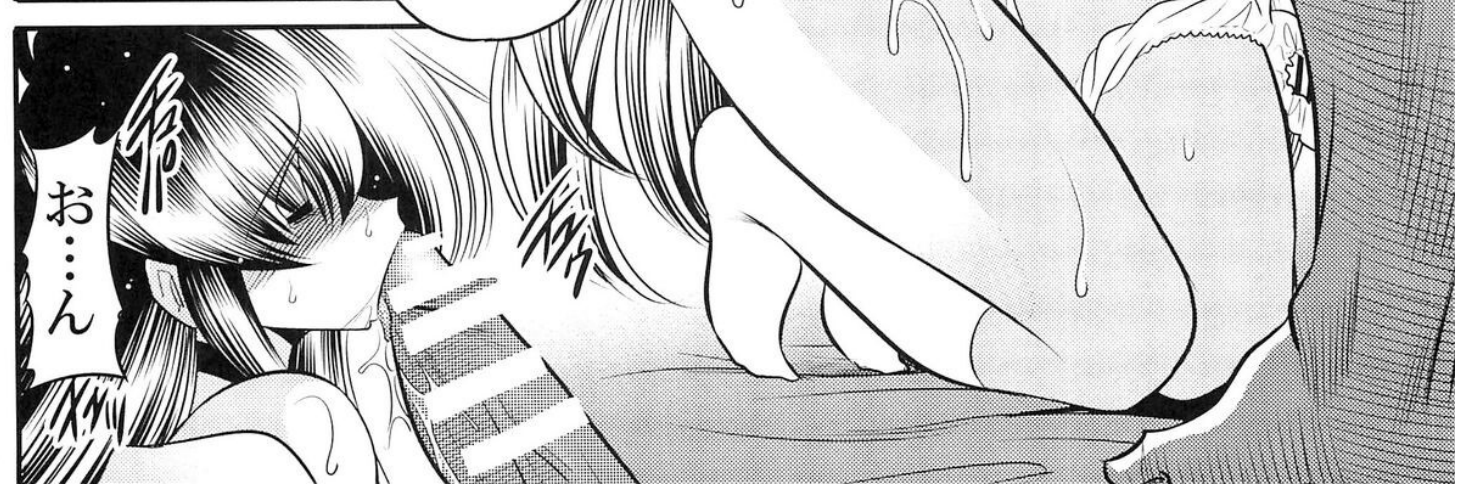


ああああああん

いや...

あ...あひ

合格ですよ奥さん
これからもザーメン便器
として使って差し上げ
ましょう



よしよしそれじゃ
ハメてあげるからねエ
気持ち良過ぎて気絶
しない様にねエ

は……はい

よろしくお願ひ
致します……

俺様は奈緒と同じ様に
美緒のマンコに
バックでねじり込んだ

あ
…

ひ
い
い
い
い
い

母親と同様に
美緒もまたハメた
だけで絶頂つた

ひ
:

ハハハ君も
ハメただけで絶頂っ
ちやったのかイ

母娘揃ってなんて
はしたないんだ
君達は

あんっ

あひっ

あはあん

ああん

ウホホしまるしまる
処女だったあの時より
更にしまるぞオ

以前の暴力的なまでの
キツさが解消されて
実にいい塩梅だ

あんっ

あふっ

おっぱいの方も
前よりタブタブと
大きくなったんじや
ないかねんっ？

いやん

93センチの……

Gカップです……

何カップだい
何センチある？

あ……きゅ

あひい

Gカップう？
まったく最近の女子高生は
肉体ばかりムチュムと
育ちおって実にけしからん

ああん

あ……あ申し訳
ございません……

あはん

君の様なふしだらな
娘にはキツイお仕置きが
必要の様だ

これから毎日
嫌という程掻き廻して
あげるから覚悟
しなさい

あひっ

は、はい……

ありがとうございます
椎島様……

ひいっ

あんっ

まだ子供のくせにこんな
いやらしい肉体をして
いいと思っておるのかね
アアンツ？

あああん

あんっ

ハハ美緒ちゃんは
軽いねエ まるで
羽根の様だよ

あんっ

あはん

あ……あだめです
そんなに激しく
ピストンされたら

お尻が……
お尻が壊れて
しまいます

ひいい

まだまだこんなモンじゃ
済まないよオ
悪い娘はお尻からキチンと
しつけないとネ

あひっ

あひいい

さっきこっちを見て
オナニーしてたろ？

!!

バレてないとも
思ったかね
いやらしい娘だ

母親のセックスを
見て興奮するとは
やっぱり悪い娘だ
君って奴は

まったく深窓の
お嬢様が聞いて
呆れる

あ……あ
お許しを

あんっ

清純そうな顔をして
とんだ淫売が隠れて
いたものだ

お許し下さい
椎島様

ああん

んうっ

さすがはあの母親の娘よ
しっかり淫蕩の血を
受け継いでおるわ

んんっ

お前も母親同様
生まれついで
のマゾ牝なのだ

ひいっ

ひいひいひい

絶頂けケツの穴を
ほじられながら
絶頂き果てるがいい

お……う

んっ

この売女め
令嬢の皮を被った
メス豚め

あつ

いや...

ああ

あああああ

ああああああん

あはん

あんっ

ああん

あひっ

あひいい

あんっ

見るがいい
窓の外に広がる
この景色を

今やすべて俺様の
ものだ この景色も
この会社も

ひいっ

そしてお前達
負け犬の肉体も

はあん

あふっ

あひい

どうだクソ社長
貴様の妻と娘のケツに
俺様のチンポを
ブチ込んでやったぞオ

会社も家も財産も
母娘の肉体も
すべて俺様のものだ

あんっ

あああん

あひい

あはん

あああん

見るがいい 自分の
妻と娘が俺様のチンポで
ヒイヒイ惨めに
よがり狂う様を

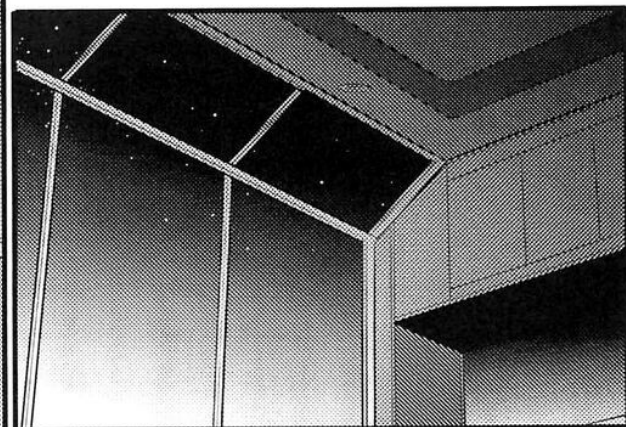
あひい

貴様の愛する
女房 娘の肉体を
俺様が征服して
やったのだ

ひいひい

ザマア見ろ
ザマア見ろ

ヒヤヒヤヒヤヒヤ



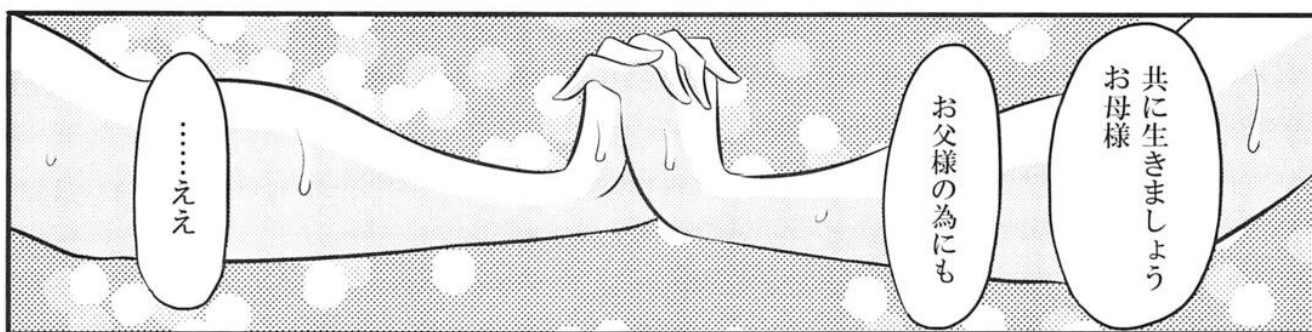


美緒……



私達、家族じゃないですか
どこまでも一緒です

お母様となら私……
何があっても平気です



……ええ

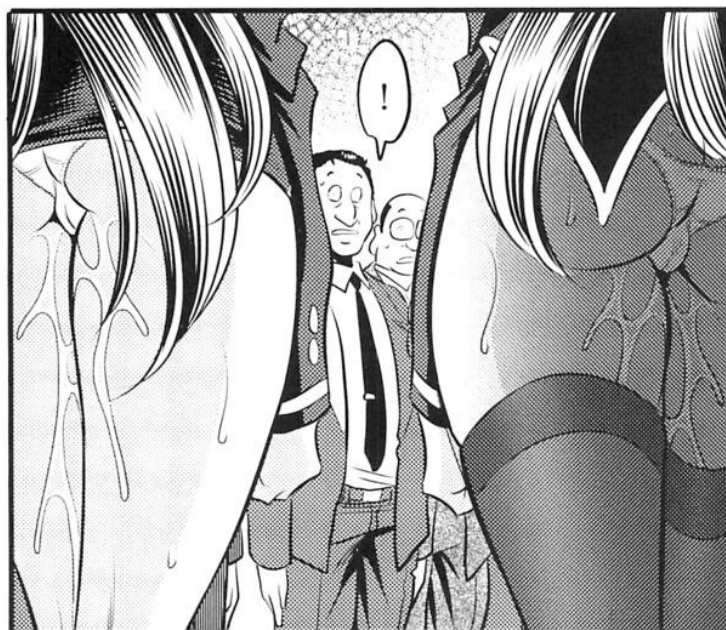
お父様の為にも

共に生きましょう
お母様

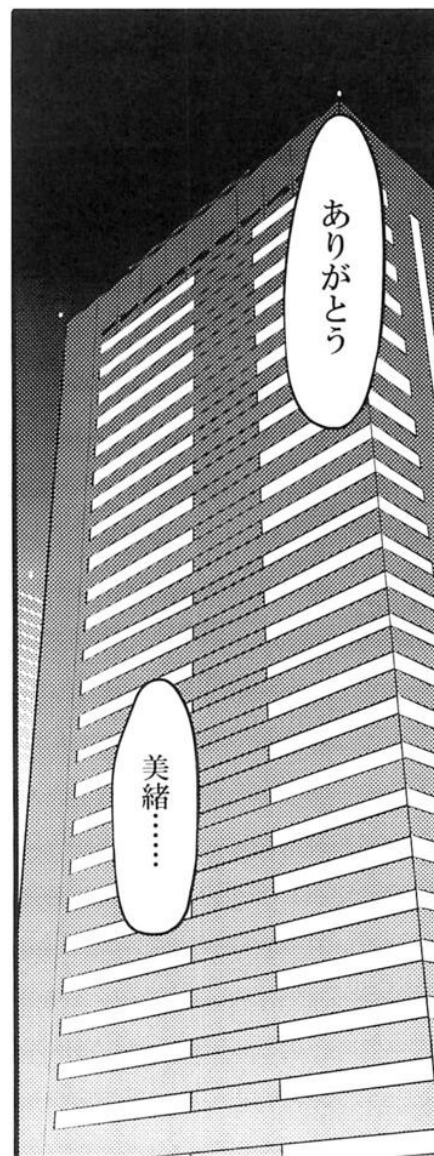


全員きをつけエ

樫島社長のお通りだ



!



ありがとう

美緒……



……おい
あれって

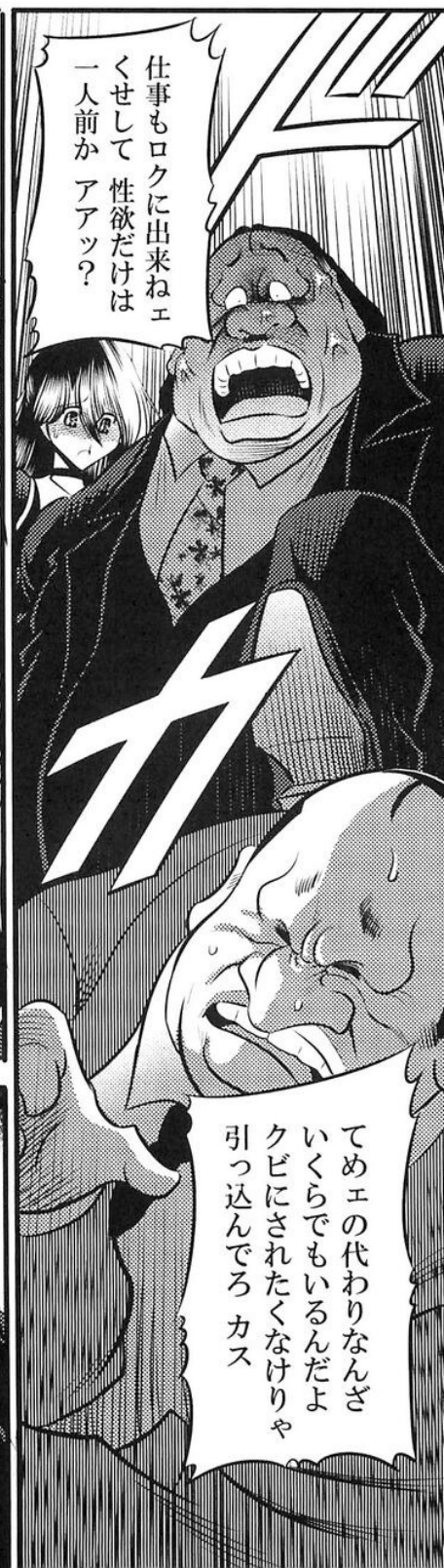
新しい秘書
らしいけど

あれ……前の社長の
奥さんと娘さんじゃ
ないのか？

すげエ恰好

噂では借金のカタに
暴力団に拉致されたって

どう見ても
今の社長の愛人
だな ありや



いかんいかん
うっかり万年筆を
落としてしまった

拾いなさい
香坂第一秘書

は、はい
ただいま……

ん……

ククク 社員共が
皆見ているぞ

もっと見せつけて
あげなさい
堕ちぶれ果てた前社長
夫人の恥ずかしい姿を

ヒヒヒ

ひっ……

あああ



いやああああ

はああああ

ああああああ
ああああああ

カカカ 元は亭主の
会社の玄関先で脱糞とは
恥知らずにも程がある
てもんですよ

牛込エ
掃除しとけ

はい



いや、やはりね

勝負事は勝たなきゃ
いけません
負けたらなんにも
なりませんからな

んうっ

人生 最後に勝った
者が偉いんです

お...う

んんっ

前社長の様な負け犬
には檻の中の暮らし
こそが相応しいって
もんです

んふう

そして負け犬の
女房 娘は勝利者の
チンポをしゃぶる、と

いや、人の運命と
いうものは残酷な
ものですなア
カカカカカ

さ、目的地に
着きましたよオ
降りて降りて

！

あ..

私達の家!?

ここは

!!

は..

はい....

さ、
入って
入って

抵当に出されていた
のを私が買い戻して
おいたのです

何も驚く事は
ありませんよ

家だけじゃありませんよ
家具や調度品
小物に至るまで

どうです 数か月
ぶりの我が家は？

あ、あの……
桃島様
これは……？

何の為に……
この様な

当時この家にあった
ものはすべてそのまま
保存してあります

ハハハハ

決まってるじゃ
ありませんか

え？

あああ

ああああ

ああああ
ああああ

あ……

あああああ

あああああ

思い出の詰まったこの家を
貴女方の目の前で
ひとつひとつ叩き壊して
いったら

あ……あ

果たしてどんな
顔をするのか見て
見たくてね

さぞかしいい表情を
見せてくれる
のでしょうか
期待しておりますぞ

あ……ひ

あ……

あなたは
鬼です

カカカいいですよオ
早速いい顔
いただきましたわ

くやしさと憎しみの
入り混じった実に
いい顔です

あひ

さ、ではまずは
家族で食卓を囲んだ
ダイニングから

ひいっ



いやあああ

はァい 次は
団欒の象徴
リビングですよ

幸せな思い出を
ウンコで塗り潰して
下さァい

あああああ

玄関

客間

さ、君の部屋だよ
美緒ちゃん

部屋全体にウンコの
シャワーをまき散らして
やりなさい

いや……

いやっ

いやあ

美緒ちゃアん
大変だよオ
大切な思い出がどどん
君のウンコでまみれて
いくよオ

アッハッハッハ
思い出の詰まった
勉強机がウンコまみれに
なっちゃったよオ

いやああああ

さ、残るは
夫婦の寝室だけに
なりましたな

あっ

ひひひひひ
ひひひひひ

あひひひ
ひひひひひ

ひひひ

ひひひひ

あひひ

ああん

どうです 御夫婦で
愛を育んだベッドで
他の男に犯される
気分は？

あの時と同じ
質問をしますよ
奥さん

御亭主と私と
どちらのチンポが
お好みですか？

……か
桃島様の
おちんぽに決まって
おりますわ……

あ……あ

あんっ

それは……
もちろん

夫の粗末な
ものとは

比べ物に
なりません……

そうですね
そうですね

御亭主とはいつも
どの様なセックスをして
らっしゃったのです？

あ……あの夫とは

いつも……
正常位でしか……

あひっ

ひいひい

あふっ

ああん

あひい

あはあん

やんっ

あひっ

嘘おつしやい
こんな我儘ボディが
あの唐変木に
乗りこなせる訳がない

生まれついでる真性
マゾ牝が普通のセックスで
絶頂ける訳がないじゃ
ありませんか

ああ……

カカカなんと淡泊な
まああの朴念仁では
無理もありますまい

しかしそれでは御亭主
とのセックスでは満足
出来たためしが
ないでしょう

そんな
事は……

そ……

ホレ、カメラの向こうの御亭主に向けて告白するのです
御自分の不貞と本性を

拘置所の亭主に自分が如何に淫らで
さもない女なのかをビデオレターとして送って差し上げなさい

……はい



椎島様のおちんぽ
とても太くて
たくましくて
いらっしやいますの

私……毎日
数えきれないくらい
絶頂かされまくって
いるんです……

あなたとの淡白な
セックスなんかとは

あはん

あひっ

あふう

御覧になれまして
ぽっかりと口を開けた
私のアナル……

ああん

あはあん

今ではおちんぽを
根元まで飲み込める
様になりましたの

満足出来ない
肉体になって
しまいました

私……もうあなたの
租チンなんかじゃ

あんっ

まるで違
いますのよ……

私……あなたを
欺いて
きたんです……

貞淑を気取って
良き妻、良き母で
ある様振る舞って

あはあん

本当はおちんぼが
大好きな真性の
変態だというのに

あひい

ひいひい

ごめんなさい
あなた……

今まで本当に
ありがとう

五

信じてもらえない
でしょうけど……
あなたを愛する気持ちは
本物でした

あはん

でも……

もう私には
あなたの妻である
資格がありません

ああん

さようなら

あなた……

お父様……

お変わり
ありませんか

美緒です……

美緒も今
お母様と一緒に

あんっ

あひっ

あああん

美緒の初めては
柗島様に貰って
いただきました

ああん

あはん

毎日 柗島様の
極太おちんぽを
おハメいただいて
いるんです……

私……

柗島様のおちんぽで
私は女にして
いただいたのです

柗島様の奴隷に
なれて幸せです……

見て下さい
美緒のこの
破廉恥に熟れ育った
おっぱい……

枇杷様に毎晩
揉みだしていただいた
おかげでこんなに大きく
成長しました……

私……気づいて
しまったんです

私も……お母様と同じ
生まれついでのマゾ牝
なのだという事に……

あひっ

いやん

あんっ

ごめんなさい
お父様……美緒は
ふしだらな娘です

あはん

あんっ

私はもう……
枇杷様のおちんぽ無しでは
生きてゆけない肉体に
なっていました

やあああん

あああん

十六年間育てて
いただいた御恩は
一生忘れません

でも

ああん

その結果がこんな
卑しい肉奴隷だなんて

さぞお嘆きに
なられている事
でしょうね……

あはん

あうん

あふっ

あんっ

さようなら
あなた……

美緒は……

恥知らずな
親不孝者です……

さようなら
お父様……

んうう

今更……以前の様な
家族には戻れません

ああん

私達はこの先一生
セックスの為だけの
肉奴隷として生きて
ゆきます……

あふん

どうか……
私達の事は

あんっ

あああん

忘れて下さい……

ああん

ごめんなさい

あひい

ごめんなさい

あなた

あ...あ

は、はい

あひい

あ...あ
最高です

オラ、どうだ
勝利者のチンポは
旨いかアアツ?

ああん

桃島様のおちんぽ
とても美味しいです

ああ...
私達の

ああん

お前達の肉体は
誰のものだ
言ってみろ

私達母娘は

あんっ

私達の肉体は
すべて桃島様
おひとりのものです

桃島様専用の
肉便器です

ご覧ただけて
いますかお父様
私達のこの惨めな姿を

あひっ

私達母娘が桃島様の
おちんぼでよがり狂い
絶頂きまくるさま…

あんっ

あはん

どうぞ最後まで
御覧になって
下さいましね

あんっ

あひい

ああ…あなた
あなた

見て下さい 私の
おまんこ

ひいっ

桃島様の極太
おちんぼがすっぽりと
埋没しているのが
お判りになるでしょう

あなたア

あひい

いや...

ああああああん

あひっ

ああああああん



うああああ
あああああ

おおおおお
おおおおお

ヒヒヒ

そうか
泣きじゃくって
いたか

そいつア是非とも
目の前で見たかった
モンだな

あ、そうだ 今度
丸裸の二人を連れて
面会にでも行くか

ちっ

また冥央会からの
催促メールか

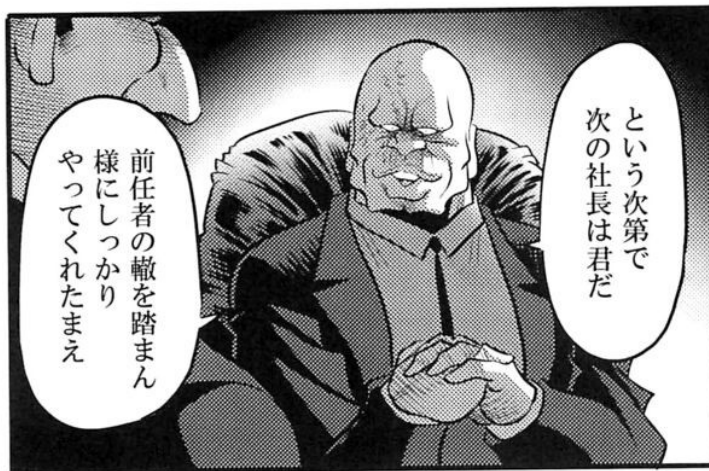
どうせ向こうも
今更我が社を
切れやしねえん
だからな

無視だ無視

最近調子に乗って
どんどんエスカレート
してきやがる

こっちはもう
フル操業で手一杯
だつてのに

ミレだから
ヤクザもんは



さ、御ふたり共

貴女方は
何ですか？
言ってみなさい

はい……

私達はセックスの為
だけに存在する
卑しい肉奴隷です……

私達の肉体は
ザーメンを注ぎ込んで
いただく為のみに
存在します……

本日より私達母娘は

牛込新社長様
専用の肉便器です……

完

あとかき

なんとなく気が向いて、やってみたら出来たので、上下巻同時にお届けする57本目、今回はその後編。

とりあえずオチの絵ツラだけは浮かんでおりましたんで例によって心に倒達するまでにアレコレ詰め込んでゆく構成になっちゃいますが、その為に途中 あからさまな展開と新キャラ出しちゃったりなんかして、バレバレのオチまで一直線に進んでみた次第で、とにかく堀川、ショボクレストレートとションベンカーブしか球種 持ッヒりませんので、何とかダメダメし先発完投めざしてやッヒます。

上巻にも書きましたが、手7セで思いのまま描きながらの為に、進みはいいものの、やはりどこかで描いた三ツのオンパレードになってるのが悩ましい所として、あまり目新しい三ツが盛り込めなかったのは心残りですが、一応読み易さとまとまりが良いのと、ウンコたくさん描けた事で、自分的にはヨシとします。

田外れで小さな料理店を営む美人女将、笠間弥生とそのひとり娘、笠間五月。だが 田娘の美しさに目をつけた高利貸しは、その肉体を蹂躪せんと画策する。冬予定「田娘繁忙帳、上巻」 どうぞよしなに。



最近の日常 第57回



男達のワナに
墮ちた母娘
の運命は?
来年予定
「母娘繁忙帳
下巻」

展開に困った時にはナレーションなりモノローグなりを
からせてごまかすのはいつもの知ですが、こういった男
視点のモノローグは地で書けるので、楽しくもあり、
お手軽になっちゃうのが悩ましくもあり。ちなみに
女の子視点のモノローグは自分の中に女の子を憑依
させて書くんですわ。それはそれで結構楽しくて
サクサク書けちゃったり。…だって俺、DMだし。
やらせ役視点なんて、正直ガッツリ趣味の範疇だし。
こんなこんなので前作、今作と二回続けて田娘もので
お届けしました堀川、遂に開き直ったが、それとも気が
ふれたか、今回も怒涛の田娘もの三連チャンでお届け
致します。…もういいんです。自分を偽るのはやめたん
です。好きなものだけ描くんです。俺、田娘もの大好き
なんです。しかも今の所は田娘ものにピンポイントで
傾いておりますのは事実として、なるべくミチがからん

様にしたいとは思いますが、いつもの如く描いてみない事には
判りません。そもそも自分を偽った事なんかなくて、描きたい
モンしか描いてきてないので、その内この田娘ものリビドーが
一段落したら違うジャンルも届けするかとは思います。

最近はこの暗い路線はエロ業界ではお判りウケがよろい
くないなんて話も聞いたリですが、ヒリあえず"どこ吹く風で"
描き飛ばしてゆく所存です。

元年7月1日

堀川悟郎

「母娘流転 下巻」

発 行 : サークル太平天国
発行日 : 令和元年8月11日
発行者 : 堀川悟郎
印刷所 : (株)大友出版印刷
連絡先 : 〒486-0817
春日井市東野町
10-17-1 LG216
太田方

〈禁無断転載〉

18歳未満の購読、購入を禁じます。





成人向